



# 帰ってきた 研修だより



平成30年11月1日

## 行ってきました！加茂大祭！当番祭！ 頑張りました！ゴミ袋配布活動！

爽やかに晴れた秋空の下、吉備中央町では10月20日（日）に加茂市場の総社宮で加茂大祭、10月27日（日）に吉川八幡宮で当番祭が催されました。

その中で、昨年度のアセアン加盟国中学生招へい交流事業の国際交流実行委員（以下、「実行委員」とします。）が、事後活動の中で提案した「地域の文化である祭りの会場の美化に貢献しよう」という思いを実行するために、来場者にゴミ袋を配布する活動を行いました。

### ゴミ袋配布数500枚！「加茂大祭」



加茂大祭には5人の実行委員（山口さん、菅野さん、天艸さん、難波さん、葛原さん）が集まりました。

たくさんの方が集まった中での活動になりましたが、プラカードを持ち、大きな声を出してゴミ袋を配って回りました。

その活動は一緒に祭り会場に来た友達や、保護者、学校の先生にまで広がりました。配布したゴミ袋の数なんと500枚。祭りに集まる人たちの意識の高さと、実行委員たちの頑張りがあって、道路にはゴミが全く落ちていませんでした。



## ゴミがない！「当番祭」



当番祭には6人の実行委員（山口さん、菅野さん、天艸さん、難波さん、池田さん、西崎さん）が集まりました。

活動開始後すぐに気付いたことは、吉川八幡宮にゴミ袋が必要なほどゴミが落ちていないこと。

先週とは違う展開に戸惑いながらも、実行委員は自分のゴミ袋にゴミを集める活動を自発的に開始しました。わずかなゴミを見逃さず、小さなタバコの吸い殻まで拾っている姿に実行委員の本気を感じました。



## 最後に

加茂大祭の関係者の方々も、当番祭の関係者の方々も、この活動の許可をいただきに伺った際に、「若い方たちがこの祭りや伝統に関わってくれることがうれしい。」という言葉いただきました。実行委員の中には「この祭りに来るのは初めて。」と言っていた人もいましたが、今年の交流事業が、身近な伝統の理解につながったことは喜ばしいことです。



実行委員のみなさん、お疲れ様でした。約2年間に渡る大きな学びはこれで一つの結びを迎えました。受験を控えた3年生は、交流事業のことを含めて中学校生活3年間の総仕上げと、次の進路へと向けた学習に頑張ってください。ここでの経験が次のみなさんの成長に繋がることを祈っています。

(サッティ)